
メルマガ

NPO 法人市民福祉団体全国協議会・復興支援事務所
NO.8 (2012年9月1日発信)

しっかい！

歩もう	つながろう
支えよう	広げよう
学ぼう	増やそう

★被災地関連情報★

引き続き募集中です！
問い合わせは連絡先へ直接行ってください。

【山元町仮設の女性グループ支援】 中古ミシン提供募集！
連絡先[ささえ愛山元・中村怜子 080-3031-5722]

(藤田 佐和子)

8月28日号の市民協 MM を読み、「市民協の団体は地域福祉に責任をもつ姿勢が必要です。自分の団体の事業だけに閉じこもるのではなく、地域福祉が前進するようにその先頭に立って活動しなければなりません。つまり、NPO の介護保険事業者は株式会社で実施するより大きな負荷がかかるのです」と鼓舞している田中尚輝さんの言葉が胸に響いた。地域の困っているニーズに目を向け、なんとかしなくちゃ！と立ちあがった理念ある NPO でなくては果たせない高い目標と言えるでしょう。

次世代のリーダーに、その高い目標と理念をバトンタッチしていくには、立ち上げた時の原点（熱い思い）を言い続けていくしかないのではないのでしょうか？

「出来るか出来ないかではなく、やるかやらないか！」「一歩、踏み出しましょう！」「後退しでは駄目、せめて踏みとどまって足踏みしましょう」「複眼でものを見ましょう！」

私の師である福永隆子の言葉は今も、私の胸の中で生きています…。

【報告】

1 8月9日、市民協の理事でもある牧野史子さんを講師に、モデル事業に取り組む仙台市内3仮設合同のワークショップを開催しました。まず始めに、パワーポイントを使って阪神淡路大震災後の牧野さんが関わった仮設の状況や活動等を紹介した後、各グループで話し合うテーマ（①地域の願い、つばやき、②出来ること、得意なこと、③欲しいもの）について説明。約40分程話し合った後に、各自から出てきた思いを発表しました。

集約すると、①は元の家に戻りたい。お金がほしい。笑顔が欲しい。②は仮設で友達ができたこと。笑わすのが得意。編み物が得意。③はお金が欲しい。集合仮設とみなし仮設の差別をなくして欲しい。温泉に招待して欲しいなどのメッセージがありました。

私にとって出会いの場が仮設でしたから、仮設で穏やかに語り合い、笑い合うのがいつのまにか日常のように錯覚していましたが、「家に帰りたい」「お金があれば家を建てられるの

に」という心の奥底に秘めた叫びにふれて、被災者に向き合い、寄り添う気持ちが大切と、改めて気を引き締める機会となりました。

でも皆さん、仲間が居るから楽しい…と、前向きです。



- 2 8月28日、山形県で開催された「新しい公共支援事業連絡調整会議（北海道・東北ブロック）」の成果報告の部を傍聴してきました。宮城からは NPO 法人社の伝言板ゆるるが事務局をしている「登米市市民活動支援拠点づくり事業」、岩手からは NPO 法人いわて連携復興センターが事務局をしている「復興支援に向けた協働マッチング推進事業」、そして福島からは NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンターが事務局をしている「空き店舗を活用した非難住民のビジネス・サロンの場を通じた企業化・雇用創出支援」の事例報告がありました。今回のモデル事業の企画書を提出する前に、このような機会があったらと残念な思いもありましたが、来年度3月末の成果報告に向けて、いろいろと参考になりました。

- 3 8月29日、「支援者のための若林区復興情報セミナー」に参加してきました。これは、若林区が呼びかけて、若林区の復興の現状と課題を、これまで支援活動をしてきた人達と情報共有する目的で行われたようです。冒頭から、区副区長が町内会ごと或いは小人数の集まりの勉強会や意見交換会を開いて得た感触を、自らの言葉で語る内容には説得力があり、区が一生懸命に取り組んでいる意気込みを感じました。

また、「みなし仮設への支援が充分でない。被災者に寄り添って個別対応をどうしていくか。行政で出来ないこと（就労支援は財産相続等）を別の組織とどう連携していくかが課題である」という話を聞いたことも収穫でした。

次に、「被災者支援活動の現状と課題」というテーマで、支援者側と仮設自治会長とのパネルディスカッションがありましたが、結論から言うと、永遠の課題である「集会所に来る人は固定化しているので閉じこもりの人をどうするか?」「地元のボランティアが少ない」という話に尽きました。

一筋の光明は、区社協事務局長がこれまでのタイプとちょっと違うと思っていたら元校長だったらしく、小・中学生からボランティア体験させようと学校訪問しているという話を聞き、彼なら時間をかけて少しずつ社協体質を変えていくかもしれないと感じられたことでした。現に、社協として「復興の輪ミーティング」を仕掛けるなど、これまでにない動きがあり秘かに注目していましたが、その下地があったからこそ会場は熱気に満ちあふれ、区の担当職員の外に、約50人の支援者が詰めかけたと思われます。

4 8月30日、第4回モデル事業の協議会を開催しました。協議体として仙台市、パーソナルサポートセンター外、パラソル喫茶チームの6団体9名+事務局4名の計15名が出席。定例の進捗状況の報告から始まり、今回は仙台市内3仮設合同で行ったワークショップの報告や、これから順次進めて行くプチ講座について意見やアドバイスを頂きました。その後、テキスト作成のワーキンググループで第1回の打ち合わせを行い、大まかなイメージと方向性を決めました。

9月に入ると、遅々として進んでいなかった東松島市の仮設「あおぞらコミュニティ」がようやく動き始めます。6日に第1回の協議会 in 東松島を開催し、8日には牧野史子さんを講師にお願いしてワークショップを行い、翌日9日にはパラソル喫茶を実施します。どうなりますか…。伊藤寿美子さんにも手伝って頂きながら、楽しくおしゃべりしながらサロン活動、まちづくり活動に発展していくようにサポートしていきたいと思っています。

【パラソル喫茶 報告】

(清水 和子)

8/11(土)、山元町の旧坂元中学校跡地仮設住宅で開かれた“ささえ愛山元”主催のパラソル喫茶に応援に行ってきました。

少し小ぶりな集会所には参加者25名程とささえ愛山元のスタッフに加え、東京と佐賀からのボランティアで満席となり、たいへん賑わっていました。各テーブルには、スタッフ手作りのおはぎやしそ巻き、かぼちゃの煮物、漬物などと一緒にさりげなく野の花が飾られ、いつもながらのささえ愛山元の思いやりあふれるパラソル喫茶の風景です。

ひとしきりおしゃべりを楽しみ、お腹も満たされた頃にスタッフによるマジックショーが始まりました。「狭い所だから、こっちの人達たねが見えるかもねー」と言いながらも鮮やかな手つきとユーモア交じるマジックが披露され、皆さんから喝采をあげました。夏休みとあって参加していた小学生の女の子ふたりに懇願され、絶対たねは洩らさないという約束のもと簡単なマジックを伝授して、会の最後には一所懸命練習したふたりが立派にお披露目してくれました。「若い子は早いねー」「すじがいいねー」などと皆さんにおほめの言葉をいただき嬉しそうでした。

続いて、水戸黄門体操で体を動かし（これが大好評）会のしめには恒例の合唱で、“365歩のマーチ”“北国の春”“ふるさと”などを歌い和気あいあいのうちに終了しました。

【岩手県のNPOの現状】

(古賀 久恵)

震災後、NPOが増えている。岩手県内には約450のNPOがあるが、東日本大震災の後に県内で設立を申請したNPO法人は74団体（認証済みは66）そのうち30団体（認証27団体）が震災対応を目的とする法人だ。認定NPOはひとつもない。

そんなNPOブームの中、先日、虚偽の実績報告書を作成させ、助成金160万円のうち14万円を返還しなかったと、盛岡にあったNPOが起訴された。事件そのものは数年前のこのようだが、本件の起訴を受けての対応なのだろうか、岩手県内のNPOに対して県からNPO等に税理士や公認会計士など会計の専門家を派遣する事業を実施すると通達が届いた。さらに「新し

い公共のためのモデル事業」を行っている団体に対しては、報告書提出前に専門家の指導を受けるようにと連絡がきた。

震災後の東北は、外から来た支援団体の“入知恵”でNPOが増えたと言っても過言ではないだろう。NPOを作るだけならそれほど大変ではない。維持、運営していくことが大変なのだ。法人として登記したからには、雇用や税金面の手続きなども必要となってくる。そして、助成金などを受けた場合、指定期日に提出すべき書類などがたくさんある。しかし、残念なことに支援団体の多くが、設立後の面倒を見ていない。年度末の決算時のバタバタが今から目に浮かぶ。今回の専門家派遣は、それらを回避するための県の対策なのだろうか。方法としては悪くないと思うのだが、岩手県内には税理士や公認会計士など会計の専門家が少ない上、NPO会計がわかる専門家は限られているという現状があり、ちゃんとした指導ができるのか疑問視する声もある。

以下 通達を転記

県では、NPO等の運営基盤の強化を図るため、新しい公共支援事業の一環として、NPO等に税理士や公認会計士など会計の専門家を派遣する事業を実施します。

この事業は、東北税理士会岩手県支部連合会及び日本公認会計士協会東北会岩手県会の協力を得て実施するものであり、新しい公共の場づくりのためのモデル事業実施団体の他、県内に事務所を有する民間非営利組織を対象としています。

転記 ここまで

注：NPO数などは県の公式ホームページを参照

【8月パライソル喫茶実施報告】

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			すみちゃんの家	さくら会 JR南小泉		
5	6	7	8	9	10	11
		福島・佐原	NALC・仙台港背後地6号公園 中野仮設	NALC・荒井小用地仮設	仙台事務所&千葉ゆかりさん・英語の先生 若松会	ささえ愛山元・旧坂中
						バスツアー
12	13	14	15	16	17	18
		福島・しのぶ台	すみちゃんの家	さくら会 卸町5丁目	仙台事務所&男の台所 駒町1丁目公園	すずめの宿・七瀬中央公園仮設&2号公園仮設・夏祭りと一緒に
						バスツアー
19	20	21	22	23	24	25
		福島・佐原	NALC・福田町南&岡田西町	NALC・七ヶ浜第一スポーツ広場仮設		ささえ愛山元・高瀬西石山原
						けすどうる 七瀬中央公園仮設
26	27	28	29	30	31	
	けすどうる・駒町4丁目仮設	福島・しのぶ台				